



第 12 回 交流会「変形菌を探そう!」

2018年9月15日(土) 潮風スポーツ公園会議室にて

その日は雨でした.

雨をものともせず集まった20余名。

変形菌の実習講義をミュージアムパーク茨城県自然博物館の宮本卓也先生にしていただく日です。

小網代にもきっといるに違いない。

このまったく新しい生き物について、ほとんど何も知らない私 たちは、宮本先生の熱のこもったお話を聴き、目の前に新し い世界がひらけました!

先生が何時間もかけて撮影した変形菌の動画は、ほんとうに めずらしく、すばらしいものでした。

さらに先生は実際の変形菌のサンプルをいくつもおもちくださいました。

それらを、これまた先生がおもちくださった顕微鏡で実際にみることができたのです。

変形菌とはなにか、変形菌の認識について、歴史的な変遷をまずは教えていただきました。

変形菌は粘菌ともいわれ、原始的な生物のひとつです。 動物でも植物でも、菌でもない、アメーバの一種だそうです。 多核単細胞の姿をして大きくなり、バクテリア等を餌としていま す。

あるときはアメーバのようでもあり、またあるときは子実体という、きのこのようでもあり、胞子を飛ばして増えたりもします。

いったいなんなんだ!このいきものは!? こんなものが私たちのすぐそばにいたなんて、私たちは見て も見ず、知らずに今までいたのです。











胞子から生まれたばかりの単細胞アメーバのときは細胞分裂をしながら増えます。

ところがそのアメーバの中に違う性別のものがでてきます。

性別は人間のように2つではなく、3つも4つもあるようです。

違う性別同士があたかも有性生殖のように一緒になると、それからは中の核のみが増えてゆきます。

1つのアメーバの中に多くの核がある状態です。多核単細胞!

このアメーバはどんどん大きくなっていきます。

そのようにして成長しながら、ある時ちいさな子実体となり胞子をつくります。

そして、胞子を風や雨などの力を借りてばらまくのです。

そんな不思議ないきもの、変形菌を具体的な写真と動画で先生は私たちにわかりやすく説明してくださいました。

変形菌を育てることができるそうです。

先生は実際にタッパーにいれた黄色いアメーバのような変形 菌をみせてくださいました。

餌は通常はバクテリアですが、米なども食べると、そのタッパーに米粒をいれて、動いていないように見える変形菌の黄色いアメーバが実際に1時間後にはその米粒の上にのって米粒が黄色になっているのを見せてくださいました。

お一つ、眼にみえない速度ではあるが、動いているんだ、とみな息をのみました。

この変形菌アメーバの色は黄色、赤、オレンジ、白、透明などいろいろあります。 世界には約 1000 種類の変形菌があり、日本にはそのうちの約 600 種類がいるといいます。 先生が何時間もかけて撮った変形菌写真を動画にしたものを見せてくださいました。

子実体はちいさなキノコや房のようなかたち、きらきらした金属のように輝く美しいものもあり、とても小さいので変形菌の名前はみんな「なんとかホコリ」

先生が中心になって開催されたミュージアムパーク茨城県自然博物館の企画展「変形菌――不思議かわいい!森の妖精――」で展示された数々の変形菌データを実際にみせていただくこともできました。 お弁当中も私たちの初歩的な質問に答えていただき、昼食後は雨も小降りになった小網代の森へくりだしました。







なんと、森のあちこちで実際に変形菌をみつけることができ たのです!

変形菌にはそっくりな菌やきのこなどもあり、実際に先生に ご指導いただかないとなかなか見分けがつきません。みな、 もう、この新しく知った生き物に夢中です。

宮本卓也先生にじかに教えをいただいたおかげです。

夕方、帰り途中のコーヒータイムまでご一緒していただき、 ほんとうにうれしい1日でした。

先生は観察会のあとにも、森でみつけた変形菌の写真を快く見てくださりコメントを くださいました。

また別の季節には別の変形菌が出るそうです。 これからの森歩きに新しい楽しみがふえました。

宮本卓也先生、お忙しい中、遠いところをおいでいただき、ほんとうにありがとうござ いました。

私たちは先生に開いていただいた新しい眼で森をあるき、変形菌をもっとみつけて 小網代の森の豊かさをさらに満喫したいです。

(文 鈴木カヲル)



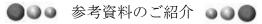




タッパーの中の変形体 おー! 米粒食べてる!

この日見つけた変形菌

- ・ シロウツボホコリ
- ・ ウツボホコリ
- コムラサキホコリ
- ・ツノホコリ
- ムラサキホコリ
- サビムラサキホコリ





講師配布資料より

○変形菌のことをもっと知りたい時に読む本

「変形菌」 川上新一 著 佐藤岳彦 写真 (技術評論社) 「森のふしぎな生きもの 変形菌ずかん」 川上新一 (平凡社) 「粘菌生活のススメ 奇妙で美しい謎の生きものを求めて」

荒井文彦 著 川上新一 監修 (誠文堂新光社)

「月刊たくさんのふしぎ2012年11月号 かしこい単細胞 粘菌」

中垣俊之 (福音館書店)

「日本変形菌類図鑑」 萩原博光・山本幸憲 (平凡社) 「粘菌~驚くべき生命力の謎~」 松本淳 (誠文堂新光社) 「菌類のふしぎー形とはたらきの驚異の多様性」 国立科学博物館

(東海大学出版会)

「粘菌 その驚くべき知性」 中垣俊之 (PHP サイエンス)

○その他にもたくさん

「変形菌入門」 川上新一解説 新井文彦・高野丈写真 (文一総合出版)

「世界は変形菌でいっぱいだ」 増井真那 (朝日出版社)

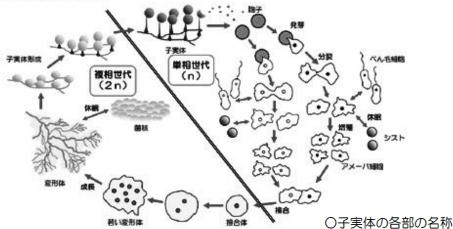
「粘菌 偉大なる単細胞が人類を救う」 中垣俊之 (文春新書)

「美しい変形菌」 高野丈 (パイインターナショナル)

国立科学博物館 自然と科学の情報誌「milsil」2018年9月(第65)号 特集 ふしぎで多彩な変形菌の世界 THE BIG ISSUE JAPAN 2018-04-01 発売 332 号 特集 こんにちは!「変形菌」

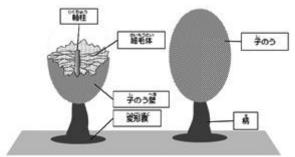
<参考> 〇変形菌の生活環

講師配布資料より



●●● コーヒータイムを終えて、楽しい時間でしたね ●●●





(以上の写真 T,Ishizuka、浪本晴美)

●●● ご参加の皆さまからメッセージをいただきました ●●●

講師の先生からのメッセージ

おまねきいただきありがとうございました。

小網代の森の豊かな自然の中、変形菌を探す機会がいただけて、とても楽しい時間をすごせました。身近な生き物でありながら多くの人が知らずに過ぎる変形菌ですが、色や形の多様性やその生き方の不思議さ、そして、変形菌っておもしろい生き物だなと思っていただければありがたいです。

つたない話で申しわけありませんが、聞いていただきありがとうございました。

あしたもあさっても森で探したくなりました。目標 30 種!! H.N

お世話さまでした。講師の宮本先生が想像していた以上に、気さくで、お話も分かりやすく、楽しい変形菌の世界は魅力いっぱい! S.T



初めて参加してすべてが新鮮でした。 以後近くの森へいくのも楽しみになりました。 K.W

今日は、おもいがけない世界を知ることができ、おもしろかったです。

変形菌って何だろう?という興味で参加。こんなところにひっそりと生きている生物がいるなんて、知らなかった。またこういう生物を研究している方がいらっしゃるということも知らなかった。

全て感動でした。 T.A



大変 楽しかったです。 M.I

この世には何て不思議な生きものがいるものだ。変形する菌、しかも動いて食物さがす、キノコのように 胞子をつくって飛ばす、しかも日常のまわりの枯葉や枯木のなかにいるなんて、こんな生き物(といって もよい)は初めて知りました。からだを悪くしてすみません。 K.S



都合で午前中の講義が聞けなくて残念でした。雨の中にもかかわらず、何種も変形菌が見つかって感動しました。思いがけないところに生息しているということですので、是非身の回りで発見したいと思います。 AS



変形菌の知識ほぼゼロからの参加でしたが、写真で見た子実体の実物を生まれて初めて目にした時の感動といったら……。

今度は身近で探してみます。貴重な体験をありがとうございました。 I.M

- ・雨の中、とても不安でしたが、これぞ変形菌という姿を見ることが出来て満足です。
- ・宮本先生の解説も、とてもわかりやすく、充実した一日でした。
- ・企画・運営して下さったメンバー、スタッフの方々に感謝しております。
- ありがとうございました。 Y.O





変形菌をさがしながら森の中を歩くのが楽しかったです。変形体や子実体を見ることができ家の近くでもさがしてみたいです。宮本先生のお話もおもしろく少しでもおぼえておけたらと思いました。 A.K

自然界の初めての出会いに興味深く楽しい一日になりました。これから庭の樹木や葉っぱを見る目が違ってきそうです。 M.S

雨の中、先生のお話がたくさんきけてかえってラッキーでした。とくに雨の小網代の中でもいろいろな変形菌にであえてとてもうれしかったです! K.S



** | お菌の不思議な世界、とても楽しかったです。

野外活動は、もう少しグループに分けて活動されるのがいいと思います。 T.I



初参加でしたが楽しい1日でした先生のお話はとても面白くその説明の後の変形菌探しも大満足。散策スタイル、新しい面が開けました。

変形菌ってかわいいですね。 M.K

あいにくの雨の中で、がっかりしていたのですが先生のお話とスライドをじっくり聞かせていただき、お 昼の食事の時まで、いろいろな話とスライド、また小網代へと、とても、とても、いっぱい、皆さんといられ て幸せでした。 Y.S





変形菌について「南方熊楠」を知った時、どんどん変化していく面白い菌と書いてありましたが、実体は全く知らず参加しました。身の回りにこんな美しく興味深い変化をする生物が共存してくれているとは感激でした。先生の丁寧なわかりやすい説明で、理解しやすく感じました。実際に歩いて実物を探し、より親しみがわいてきました。ありがとうございました。 N.O

今日の小網代 10月3日(水)

台風(9月30日の台風24号)の影響はどうかと港側から森に入る。白髭神社の大銀杏の葉が茶色に枯れて、銀杏が大量に落下している。塩害はヤナギテラス辺りまでおよび、海側の葉は茶色に変色。下手のハンノキも一部茶色に。

ミゾソバ、カントウョメナ、ヒョドリバナ、ガビチョウの声のみ して静かな森 A.M



スタッフ研修 変形菌追っかけ記

交流会の終盤、参加者が「先生、これは何でしょう?」と持ってきた腐木には、透明なゼリー状のものがたっぷりと。宮本卓也先生によると、変形菌の変形体の状態のようだけど、子実体を見ないと同定は出来ないとのこと。

このゼリーがどんなふうに変化していくのだろうと興味津々!追っかけ観察しようと決め、場所をしっかり覚えて帰った。

9月17日

近所の百円ショップでスマホ用のマクロレンズを買って出発。

おやおや、ゼリーの周辺に黒や青の金属光沢の球状のものが、マッチのように並んでいるではないか!きっと、ゼリー状の変形体が周囲から子実体に変化している最中なんだ。なんてきれいなこと!スマホにセットしたマクロレンズの見せてくれた世界に驚く。

木っ端でそっと雨除けの蓋をして帰宅。早速、川上新一解説『変形菌入門』を調べる。どうも、ツヤエリホコリらしい。

この状況を逐一、森くらぶスタッフ有志にラインで伝えていたところ、すぐ先生に画像が送られお返事が返ってきた。 子実体は確かにツヤエリホコリだが、ツヤエリホコリの変形体は白色。透明ゼリーは別の変形菌の変形体だろうとのこと (※)。謎は残るがワクワクする展開!

9月19日

昨夜はまとまった雨が降り、森じゅう水の流れる音。本日は透明ゼリーだけでなく、他の変形菌も探しながら歩く。何 点かそれらしい写真を撮りながらラインで送る。

透明ゼリーはボリュームが半分くらいに減少。ツヤエリホコリは金属光沢が失われて真っ黒に(宮本先生の表現ではマックロクロスケに)なって、元気なくしおれた感じ。もう胞子を飛ばして役目を終えたのかもしれない。

9月22日

おとといの朝から雨が降り続き、昨日の夜中までしとしと と。シロバナサクラタデ真っ盛り。

手の届く範囲の落ち枝を順に見ながら、変形菌らしきもの の写真を撮る。

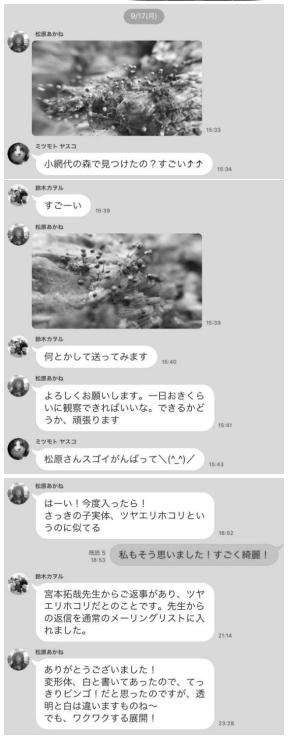
例のゼリーの周りのマックロクロスケは、つぶれたように 倒れてびっしり張り付いている。透明だったゼリーは白濁し た部分がふえ、ボリュームもさらに減ってしまった。

10月3日

9月30日の台風24号の強風の影響が気になって、森に入る。

ゼリーの腐木には小さな甲虫がたくさん。ゼリーも無くなり、マックロクロスケも確認できず。ボロボロになって、木







浪本のライン (LINE) トーク画面の スクリーンショットをとり、一部抜粋しました 屑や虫の食べ痕ばかりになっている。

ゼリーは木や土の中に移動したのか、あるいは虫に食べられたのだろうか?探求はここで終わってしまった。

あの時のラインを基に再現して記しましたが、1人で観察しても情報は瞬時に仲間と共有でき、さらに感想や新たな情報が返ってくるこのライン、使えるやつです。まるで実況中継をしているようで、順序が狂わず、写真も入り簡単な野帳として最適ではないでしょうか。

ともあれ、浪本さんのお骨折りで先生に写真を見て頂き、 ひとつひとつ丁寧にコメントまで頂きました。感激です!

私の撮った写真、ツヤエリホコリの他はほとんど変形菌ではなく、菌類などのそっくり生物だということもわかりました。トホホな結果ですが、めげずに変形菌眼を鍛えたいと思っています。

松原 あかね

※ 宮本卓也先生からいただいたメール

送っていただいた写真に映っているのは確かに変形菌の子実体です しかし おそらく 観察会でみなさんでみた あの透明ゼリーでは ないものが新たに発生していると思います

ゼリー状の変形体は おそらくツノホコリだとお話ししましたが 写真の変形菌は おそらくツヤエリホコリだと思います

だとすると変形体はむしろ白っぽいので 透明ゼリーとは違った見 栄えになります

きっと 木の内側深くに潜んでいたものが 観察会の後 這い出て きて変身したと思います

ツヤエリホコリも比較的よく見つかる変形菌の一種なので いても 不思議ではありません

ツヤエリホコリは子実体の子のう壁に金属光沢がありきらきらして いてきれいですが

これが簡単にはがれてしまい まっくろくろすけみたいになります はがれた子のう壁は柄のところにほんの少し残ることが多く それ がまるで襟のように見えるのでツヤエリホコリといいます 皆さんでぜひ観察してみてください

こあじろの森で見つかった変形菌たち

コホコリ目 マメホコリ ケホコリ目 ウツボホコリ キウツボホコリ

シロウツボホコリ

モジホコリ目 ムシホコリ

アオモジホコリ シロジクモジホコリ**?**

ムラサキホコリ目 サビムラサキホコリ

ムラサキホコリ コムラサキホコリ

ツヤエリホコリ

ツノホコリ目 ツノホコリ

ナミウチツノホコリ エダナシツノホコリ



ツヤエリホコリ



第 13 回交流会「小網代の森は 秋まっさかり!」

月日 10月28日(日) 天候 晴れときどき曇り 参加 7名

爽やかに晴れ渡った秋の空、絶好のお天気に恵まれ何となく心ウキウキと三崎口駅前を出発。今日は 参加者が少なめですので、予定を変更。迷句も絵てがみも忘れて、ただひたすら森の空気を感じて歩こ うと話がまとまりました。

秋色の小網代の森

のんびり木道を歩きながら 花の実や虫、幼虫 等々 探しながら、ついでに変形菌類

探しながら、ついでに変形菌探し、ノスリの飛ぶ空を眺め 暖かいエノキテラスで昼食

すてきですネ!



ほんとに楽しく素敵な森の一日でした。

Y.M



見たもの聞いたもの

- •クチキコオロギ
- ・クサヒバリ
- ・エンマコオロギ
- ・オカメコオロギ
- •ツヅレサセコオロギ

春を思わせるようなポカポカ陽気に 虫たちも浮かれ出てきたようです。

左の写真はコオロギではなく バッタですが、

どこにいるのかわかりますか?

T.M

アゲハの幼虫もほっこり

ノスリ、天空高くぐるぐると舞い飛んでいる、幸せ一。 途中中国人と出会う、中国大連からと上手な日本語で答 えてくれる。

_=======

S.S



コケ、地衣類、キノコ、変形菌摩訶不思議な 菌類の世界。見分けられますか?





冬枯れというより台風の潮風焼けの目立つ森の中を、キノコ ちがう、変形菌(粘菌) ちがう地衣類?

なんて頭の中がごちゃごちゃして変てこ菌になってしまった。

小網代の森の奥深い一面を知った交流会でした。

K.S





秋

0)

日を十七文字に

今日帰ってから記べたいもの 1) ナメケシ"2 fe amusado こハシリダモ ハムシのですのす ちいエことでかせか! H. N

宿題もありまして、

苦手の人は見ないでね! 大好きの人は、ホームペー









上右 コアシダカグモ 上左 不明(何かの幼生かも?) 下左 ヤマナメクジ 下右 ルリスネナガトビハムシ

小網代の森の何気ない風景を五・七・五音で「あっという間に 20 句詠めちゃう小網代愛」半端ない!

黄に染まる

自然薯目立つ

テラス前

当ち上る

煙のごとく

エンマ鳴

すず

ŋ

見慣れない 捕まえて 形菌 イペ ŋ 0 11 丸 ひたしに 11 実の 音に 払 の É ス 探して秋の 報告ありて ロダモの 両手でパスす ツリガネニンジン 囲 空中 歩き続けて 実をとりてみる まれ 浜大根の 昼の 実を 陽はむこう 味い 玉 鳥見する ノスリか 元蝿と アカテガ 先頭 見上げたり か 出現す に 通

紺菊 わ 口 モジ 8 け 荻原でい 視線いそがし コリ 確か 湿地なり 矢のごとく 群すず 実体

朽ち木うら ホウチャクソウ 0) 紺玉二つ きわだって ジョロウグモ チョコアイス つり下が

三浦市民 2018年11月号

「油壺験潮場」が土木学会選奨土木遺産に認定されました!

験潮とは、海面の潮位を測ることをいい、古くから日本の 高さの基準を確認するための施設が、国土地理院により三 浦市に設置されていました。

このたび、土木学会では、歴史的土木構造物の保存に資 することなどを目的に、油壺験潮場を土木学会選奨土木遺 産に認定いたしました。

≪イベントのご案内≫

この認定を記念して、11月18日(日)開催の「みうら市 民まつり」にて、認定証授与式とPRブースの出展をいた しますので、市民の皆様のご来場をお待ちしています!!

油壺験潮場に関すること

国土交通省国土地理院測地観測センター

地殼監視課 (☎029-864-1569)

土木学会選奨土木遺産に関すること

公益社団法人 土木学会(一般社団法人 湘南建設業協会 **☎**0465-34-4288)



施設名称 油壺験潮場旧建屋 完成年明治27年(1894年)

元 構造:煉瓦造平屋 規模:床面積7.36㎡ 屋根:桟瓦葺き切妻 外壁:焼過ぎ炉瓦イギリス積み

-枚半) 基礎:石造布基礎

所 在 地 三浦市三崎町大字小網代字城の内地先 管理者 国土交通省 国土地理院

三浦半島の NEWS

第8回の交流会で訪問した「油壷験潮場」 の旧建屋が土木学会選奨土木遺産に認定 され、11月18日の「みうら市民まつり」に て記念イベントが行われました。

明治のはじめ頃人が木の棒を差し込んで 観測した石の柱に残る溝と井戸、明治27 年から平成9年まで使われていた煉瓦造り の旧建屋、コンピュータ式の最新の建物 と、三代の歴史がそのまま観察できる、かけ がえのないスポットです。まだ訪れたことが 無いという方は是非一度お運びください。

随想

サロン小網代

随想 小網代てんてん 33

いつだったか、観音崎公園の遊歩道で、偶然に

ゆっくりと生きる — ナナフシ

須田漢一

と、低木のなかに、何かが動いた。 小網代の森の観察会で北の尾根を下っていく

られ、細長い棒状の体と、折れ曲がる長い脚が がゆっくりと歩いている。後から来た利発そう 広葉樹の葉を食べる 特徴で、翅のないものが多く、主にクヌギなど、 まで、ナナフシ科に属し、日本では約15種が知 な少年に教える、と「エダナナフシだ」という。 ナナフシはカマキリやキリギリスなどのなか 見ると、絡んだクズの葉の上を、焦げ茶色の虫 るのだろう。

ことで身を守る。それに植物が動いたらおかし うは、近くにじっと留まっているのだろうが、錯 いうちに、虫は藪の中に見えなくなった。ほんと な、緩慢な動きをする。 いので、移動のときは開発初期のロボットのよう 似せてカムフラージュするナナフシは、動かない からない。このように自分の体を周りのものに 綜する叢林の中では、虫が動かない限り、見つ 少年は捕まえようとしたが、目標の定まらな

> を離すと、姿は消えていた。遠くへ逃げたのでは を見ていたに違いない。 るうちは居場所が確認できたのに、ちょっと目 曲げ、まわりに溶け込むように、じっとこちら ない。枯れ枝や落ち葉の上で、細長い脚を折り 出会ったナナフシもそれと同じで、目で追ってい

動作、隠れて動かないことに、どんな意味があ それにしても、この奇妙な姿と、ゆっくりした

化の中で生き抜く方法を模索し、学習を重ね が見ている多様な昆虫の姿・形は、そうした変 昆虫は、そのときどきの環境の変化に適応し、 続けた結果、今があるのだろう。 分化を続けてきた、といわれる。いま、私たち 人類より、遙かに長い数億年を過ごしてきた

らうために生まれてきたのだ、とは思っていない てきたようなものだ。昆虫にすれば、食べても 言い換えれば、昆虫は食べられるために生まれ の鳥や、なかまの昆虫、時に動物に食べられる。 食物連鎖の下位に位置する昆虫は、他の無数

> にもけつこう度胸がいる)。 やめ、ひたすら身を隠すことに専念した。まわ りの自然の中に溶け込む術を生みだした(これ した。大きさから言っても、勝ち目のない戦いを 敵(特に鳥類)に対して身を守ることを第一と このナナフシも、いつ襲ってくるか分からない

に掴まるチャンスを与えない、生き方もある。 は、目立たぬように、ゆっくりと歩く。なんとも それには多大なエネルギーと、緊張から来るス 消極的な防衛法といえるが、これもひとつの戦 略だろう。昆虫のそれぞれの行動は、どれが正 間は茂った植物の上にじっとしていて、動く時 解という訳ではなく、長い進化の過程で定まっ トレスに耐えなければならない。 それに比べてナナフシは主に夜間に活動し、昼 トンボやチョウのように、絶えず動いて捕食者

はないようだ。 ろう。どんなカムフラージュにも完璧ということ んて思ってもいなかった。油断から見つかったのだ 北の尾根で見つかったナナフシは、人が来るな

たものといえる。

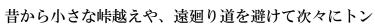
2013/6観察

はずだ。

横須賀のトンネル道

東京湾に面した横須賀は、トンネルと坂の多い地域である。

特にJR横須賀線、京浜急行、国道 16 号はトンネルの連続で、最も有名なトンネルを選ぶとすれば横須賀線の田浦駅。ホームの下り方向と上り方向は前後をトンネルに挟まれ、長大な11両編成では一部トンネル内へ停車しドアーが開かない。横須賀方向の明治、大正、昭和3代と横に並んだ3連続の七釜「しっかま」トンネル97メートル。トンネルの外装仕上げ等も歴史的な年代によって異なり、珍しい景観は鉄道マニアを魅了する。





ネルが掘削されていった。住み暮らす人達に親しまれてきた生活のトンネル道で、それぞれ全てに名称がありとくに親しみを感じる。現地では、トンネル・隧道と表示が異なる使い方なので、ここでは全てトンネルという文字に統一した。横須賀市内の代表的なトンネルを幾つか選び紹介することにする。

向坂トンネル 68 メートル 昭和8年1933年完成

京急追浜駅から少し戻り、広い踏切を渡り左折する。谷戸の突き当りの手前、左側にある。当初は素掘りであったが、昭和58年改修 した。

平六トンネル 90 メートル 昭和 14 年 1939 年完成

踏切と国道16号を信号で渡り、左折する地点に「平六トンネルは 歩行者専用である」と表示がある。通り抜けた所は、浦郷小学校の 裏手側。手を伸ばせば天井に手が届くような小さなトンネルであっ たが、近年改修された。

深浦トンネル 106 メートル 明治 44 年 1911 年完成

車道を横切り直進、深浦トンネルを確認してから戻る。深浦は文字 どおり入り江を囲む漁村であった。住民は難儀をして山越していた ので、地元の独園寺住職が掘削して開通させたと伝わる。入り組ん だ周辺海岸では、盛夏クサフグの産卵場で知られる。

筒井トンネル 68 メートル 明治 38 年 1905 年完成

南方へ車道を進む。このトンネルは天井が高く、歩道幅と比べ調和 が異なる。道路を深く掘削し改良工事をしたためといわれる。

梅田トンネル 204 メートル 明治 20 年 1887 年完成

榎戸バス停の先、右折。明治19年軍港拡張のため、周辺地域は立ち入り禁止となったという。そこで、 住民有志が多額の費用を捻出して、横須賀では始めて民間専用のトンネルとして開通した。それを記念 した、大正4年1915年建立の石碑が近くにある。

比与宇トンネル 130 メートル 昭和20年 1945 年完成

JR田浦駅の南側。旧海軍専用で車道とレールが敷設してあった。貨物列車をトンネル内へ引き入れて、軍需物資の積み下ろしを行っていたものである。近くには、プロ野球の横浜DeNAベイスターズの練習グランドがある。



三浦半島の植物

ノブドウ(野葡萄) 2011年10月



見つけた人の瞳がかがやく一斉にきらめくシャンデリア陽が当たれば

画 野内眞理子 詩 中井由実

小網代に詩う

いつか もういない人になるとしても

中井

由実

私が小網代に出会った一九九二年

仲間達と一緒に励ましながら 励まされ森はなんだか 弱々しく揺らいでいた

気がつけば二六年がたっていた

形を変えながら これからも伸びていくだろう。今、森はしっかりと三浦に腰をすえて

とても長かったこの期間に

小網代を語ってきた仲間達を

既に何人か送っている

森からみれば 人間は小さな小さな砂時計

そうして いつか私が

もうここにいない人になるとしても

頬なでる風の中を歩いていきたい今日は 共に歩く仲間と笑顔見交わし

時の名前は霜月 うっすら 靄が浮かんでいる暖かい雨が降っている

おぼろな夢を見ているのだろうかやわらかく湿った落ち葉を引き寄せる条眠に入る前のうつらうつらの中で森の生き物たちは

中井 由実

秋雨



こあじろの森くらぶ NEWS

スタッフの活動

2018.09.30(日) 10:00~ 小網代の森くらぶ通信 No.13 印刷・発送

スタッフ会議(横須賀市立 市民活動サポートセンター)

2018.10.14(日) 10:00~ スタッフミーティング(横須賀市立 市民活動サポートセンター)

2018.10.28(日) 第13回交流会「小網代の森は秋まっさかり!」

2018.11.13(火) 10:00~ スタッフ会議(横須賀市立 市民活動サポートセンター)

2018.11.17(土) 第 14 回交流会下見

 $2018.10 \sim 11$ 「小網代の変形菌」スタッフ研修のため、継続して森に入っています

●●● ご寄付ありがとうございます ●●●

仲澤イネ子様 鈴木カヲル様 ありがとうございます、大切に使わせていただきます。

■●● 第 14 回交流会のお知らせ ●●●

「石器時代の三浦半島を想像して小網代の森まで歩こう」

数万年前の石器時代の人々が作った四角い落とし穴を皆さんにも是非見ていただきたい。スタッフ研修の成果? でこ んな企画をしてみました。途中に冬鳥の賑やかな長井町の農業用水轡堰にも寄って見ましょう。バスを使って歩き時間を短 縮しました。キャベツと大根の中を歩くのも楽しいですよ。

集 合: 12月1日(土) 三崎口駅前 10時 *荒天の場合は中止します

コース: 三崎口駅―バスケット→小網代漁港→小網代の森→引橋―バス→小根岸(トイレ休憩)―徒歩→轡堰(昼食

休憩と水鳥の観察)─徒歩→船久保遺跡見学─徒歩→下ノ里─バス→三浦海岸駅(16 時 10 分ごろ)

持ち物: 弁当 水筒 あったら双眼鏡 天候によって雨具、防寒具 履き慣れた靴で

他 : バス代 680 円 細かい地図は当日配布します。

*品川~京急久里浜間往復で京急本線を利用される方は三浦半島1day 切符がお得です

対象: 「こあじろの森くらぶ」会員とそのご家族、ご友人

* 保険はありませんので、ご参加は自己責任でお願いします。

● ○ ○ 交流会のあとは年に1度の縁の会 ○ ○ ●

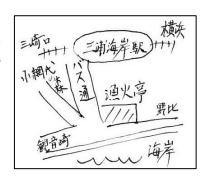
年に1度は宴会もイイネ! と、こあじろの森くらぶ恒例の忘年会。交流会にご参 加の皆さまも、忘年会からご参加の皆さまも、食べて、飲んで、お話しして、いっぱい 笑いましょう。ソフトドリンクもあります! 是非ご参加をお待ちしています。

場:三浦海岸 地魚料理「漁火亭」

三浦市南下浦町上宮田 3348 2 2 046-888-0117

時間・会費:17時~20時 4000円(飲み物込)

申し込み:046-889-0067 (仲澤)



こあじろの森くらぶ通信 No.14

2018年11月25日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地: 〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先: info@mori-club.com(高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL: http://www.mori-club.com

年会費: 1000 円 (7月~6月 入会金不要)

郵便振替 こあじろの森くらぶ 00290-6-137203